

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和元年 11月 13日

事業所名:放課後等デイサービスマーガレット

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	活動内容に応じて対応している。	設備基準に基づき、スペースを設けている。活動内容に応じて体育館や調理実習室、音楽ルームなどを利用して実施しており、活動しやすい環境づくりを目指している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	職員配置は十分である。	保育士や看護師、社会福祉士、教員免許取得者、精神保健福祉士、手話通訳者など多くの有資格者がいるため、有意義な支援につなげていく。管理者がシフト管理を行い、職員配置に気を付けていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	玄関の手すり・足台など児童の状態に応じて対応している。	今後も、利用児童の障害の状態や身体の成長発達に応じて検診を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0	0	参加している	定期的にカンファレンス時に、職員間で話し合いの場を設けており、今後も職員全員が参加できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	保護者等向けのアンケートでの意見を活用している。	ガイドラインに沿ったアンケートを活用し、職員間で、その評価の改善策の話し合いを設けており、今後も業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	ホームページに掲載している。	今後も保護者全員に評価の結果を見てもらい、その結果についてまた意見がもらえるような環境づくりを行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1	0	第三者委員の設置行っている。	意見等を受け、迅速対応できるように努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	研修の機会を確保している。	シフト調整し、勤務として研修参加を継続できるように行っていく。また、参加職員以外にも、知識の情報共有を図っていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	スタッフ全員でアセスメント行っている。	アセスメントツールの活用や、担当者会議など関連事業所との情報交換をしながら、多面的に計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	0	アセスメントツールを活用している。	今後も継続して適切な支援を行えるように、標準化された現在使用しているアセスメントツールを使用し、状況を図っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	スタッフ全員で話し合い行っている。	安心、安全な計画立案を行うため、多職種の視点から、活動プログラムの計画を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	プログラムが固定しないよう定期的に話し合っている。	今後も、保護者からの意見を取り入れながら安全なプログラムを工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	0	0	それぞれの児童の特性を考え話あっている。	長期休暇は課外活動についてスタッフで話し合いプログラムを立案している。また特性を生かした活動は個別に応じた関わりができるようスタッフ配置を今後も行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	子どもの状況にあわせて個別活動と集団活動を行っている。	児童の個々を捉えた関わりができるように、スタッフで毎月のカンファレンスと必要時に行う情報の共有を行いながら個別活動と集団活動を行っている。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	支援前に必ずミーティングを行うようにしている。	支援開始前にミーティングを行い、支援内容や役割分担について確認していくことを継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	終了後に話し合いを行うようにしている。	問題があった際など、その都度話し合いを行い、早期に対応を続けていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	1月毎に目標設定し、日々の記録で検証している。	今後も記録はSOAPで行い日々評価を行っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	半年、1年後にモニタリング行っている。	定期的モニタリング、評価をスタッフで行い計画の見直しを家族と評価方法を継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	2	0	ガイドラインについて職員も把握し支援行っている。	ガイドラインの読み合わせを年度はじめに行い、周知徹底に努めていく

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	サービス担当者会議には管理者等が参画できるように調整している。	今後もサービス担当者会議を行う場所として当事業所を提供し、利用する子どもに適切な個別支援計画に反映できるよう取り組んでいく。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	0	0	学校との情報共有は行えている。	・送迎時、学校、保護者間の情報交換の継続 ・長期休暇中の施設訪問をうけての情報交換今後も継続していき、安心安全な支援が出来るようにしていく
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	3	0	医療的ケアが必要な子どもに対応できるように、体制作りは行っている。	緊急時の対応マニュアルに沿って行動できるよう、職員教育の徹底
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	0	0	連携図れる児童発達支援事業所等とは情報共有に努めている。	保育所や幼稚園、認定こども園と情報交換を図れるように相談支援事業所とともに連携を図れるよう努めていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1	0	情報共有できるように努めている。	実習の頃から訪問し、こどもの状況を確認や情報共有を行うことができた。今後も継続できるように努めていく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	助言や研修がある際はうけている。	市役所の障害福祉課からの相談など依頼があった場合や機会ある時は、対応できるようにスタッフの勤務状況等環境調整していき、現状把握に努めていく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	0	0	交流を図れる課外活動を計画している。	今度も、こども食堂に参加したり、他の障がい者団体と一緒に活動に参加し交流をはかっていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	0	協議会等必要な会には参加している。	常に情報収集を行い、会議などに参加していき、関係づくりを広げていく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	必要ことは連絡帳や送迎時に伝え合えるようにしている。	毎日の送迎時に必ず保護者と話す時間を確保し、また問題解決に努めている。保護者会など情報交換の場の提供や時間の確保に努めていく。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	0	ペアレント・トレーニングを意識して保護者と関わるよう努めている。	今後ペアレント・トレーニングの研修参加を行い、支援を行えるよう検討していく。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	見学や利用契約時に説明は行っている。	利用契約時に主に行っている。一方的な説明にならないよう、いつでも保護者からの質問等あれば説明を行うよう努めていく。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	相談に応じていく事を保護者に伝えている。	送迎時など保護者と関わるなかで相談に応じたり、保護者会で悩み等がきかれ早めの対応を行っている。またミーティング等でも検討し支援体制づくりに努めていく。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	保護者会を定期的に行っている。	保護者会を2回/年開催により、同じ悩みを共有できる時間となり、保護者同士の連携できる場となっている。今後も継続支援していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	子どもや保護者からの苦情があった際は迅速に対応している。	苦情についてマニュアルに沿って対応できるように周知している。意見箱の設置を行い、受付担当者も明示し、第三者委員を設けている。苦情があった場合は、適切に対応できるようにしていく。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	行事予定や活動についてはSNS等で発信している。	活動概要や、行事予定について保護者会で報告している。またSNS等活用し連絡体制等の情報発信している。定期的会報については検討していく。
	35 個人情報に十分注意しているか	9	0	0	個人情報の取り扱いについてスタッフ間でも注意している。	個人情報及び連携業務に関する同意書があり、確認を行っている。保管の鍵も管理者が管理しており、今後も保管にも気をつけていく。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	意思の疎通を図るようつとめている。	手話通訳者養成課程修了者がおり、聴覚障害のある児童、保護者と手話を交えた意思の疎通や情報伝達を行っている。専門知識を持つ職員から対応・支援方法を学んでいく。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	0	地域住民との交流は図れている。	地域活動に職員が参加し、事業所の活動内容について情報提供を行っている。今後は招待等をどのように行っていか検討していく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	マニュアルの周知を図り、保護者には保護者会で提示している。	事故緊急時対応マニュアル、感染症予防マニュアルがあり対応している。嘔吐時の対応を掲示し、周知を行い、保護者会で周知している。防犯講話を交番に依頼し不審者侵入の際の対応について周知している。法改定に気をつけていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	非常災害訓練は行っている。	非常災害時対応マニュアルを作成し、消防署の協力の下2回/年災害訓練を行っており、職員子ども参加を今後も継続していく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	職員が研修参加できるよう勤務調整している。	虐待についての研修に参加したスタッフが伝達を行い情報共有を行っており、今後も継続して研修に参加していく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	身体拘束マニュアルに基づいて行っている。	身体拘束についてマニュアルがある。身体拘束が必要な児童については「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明と同意書」に基づき説明と了承を得るように取り組んでおり、今後必要性がある子どもがいた時に対応していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	食物アレルギーの有無については利用契約時に確認している。	食物アレルギーについて、看護師と保護者との情報交換を行い、また、医師の指示書がある場合は指示の下対応している。継続実施していく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	事故報告書作成し情報共有している。	事故報告書を作成し情報共有、対応策に取り組んでいく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。